

■警視庁組織運営ビジョンに基づく取組の推進

「人的基盤の強化」、「業務の合理化・効率化」、「変化し続ける情勢への対応」の3本柱

緊急的に対応すべき課題

- 人口減少、少子高齢化により、近い将来、治安を維持するために十分な人員を第一線警察署に配置することがますます困難な状況となることが確実
- 東京への一極集中が更に進み、警察業務の増加が見込まれる

■課題への対応

組織運営の**全体最適**の実現に向けた取組

警察署を中心とする現場執行力の維持・強化

» 人的支援 »

○採用施策の強化推進

- ◆「MPDキャリアフロンティア」の結成
～採用市場の開拓～

若手警察官を中心とした
リクルーティングチームを結成

就活生との接触機会を増やし
手厚い受験勧奨、辞退防止を実現

○警察署への人員シフト

- ◆本部と警察署の人員配置の適正化
- ◆交番相談員の増員

» 業務支援 »

○警察署業務の本部集約化

- ◆会計審査業務の集約
- ◆留置施設の統合、護送業務の合理化

○本部執行隊による警察署支援の拡充

- ◆交通機動隊、自動車警ら隊、機動捜査隊による110番対応



警察力の全体最適の実現

情勢への対応

○近接警察署間における当番時間帯の統合運用

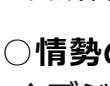
小規模で臨接する警察署の当番体制、
地域警察の一部を統合運用



A署
拠点署



B署
警戒署



C署
内勤
当番員は
拠点署へ

- ◆一班当たりの人員の充実
- ◆パトカー運用台数の増加
- ◆管轄を越えた警察活動

現場執行力の向上

見せる警戒・機動力
を生かした地域警察活動

110番通報への迅速な対応
ワークライフバランスの実現

○情勢の変化に応じた更なる組織整備

- ◆デジタル戦略課の新設
- ◆人事第一課及び給与課の統合

R 8春

R 8秋以降にも着手

首都東京の治安確保

都民・国民の安全・安心の確保